

横田基地における演習の実施等について

1 演習の名称

サムライ即応監査（S R I：Samurai Readiness Inspection）

2 日程

令和4年10月11日（火）～同年10月21日（金）（土日を含む）

10月11日（火）及び12日（水）は通常の運用時間帯（0600～2200）

10月13日（木）～21日（金）は24時間体制で実施予定

3 内容

実施に伴う航空機の運用

- ・通常よりも運用が増える予定であるが、外来機の使用はない予定
- ・CV-22の演習での使用はないが、通常の飛行運用は実施される予定
- ・当該演習において、通常の運用時間外（2200～0600）の航空機運用はないが、週末にも航空機を使用予定

PAS、GBS及び煙幕等の使用

- ・PASを1日数回使用予定
- ・GBS、バッシュキャノン及び空砲を使用する可能性あり

ただし、いずれも通常の運用時間帯（0600～2200）の範囲で使用予定

- ・煙幕の使用はない予定

4 その他

ゲートを閉鎖するが、短時間で一時的な閉鎖の予定

演習終了の通報を行う予定

演習等の予定については、諸事情により変更される場合あり

5 北関東防衛局における対応

北関東防衛局から米軍に対し、本演習の実施に当たっては、日米合同委員会合意を遵守するとともに、通常の運用時間外の演習の実施及び週末の航空機運用が予定されていることから、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう特段の配慮を申し入れた。

（参考）

- ・ S R I：Samurai Readiness Inspection（サムライ即応監査）
有事における即応態勢の維持強化及びORE*に対する監査。
※ORE：Operational Readiness Exercise（運用即応演習）
仮想戦闘環境における基地の機能テストであり、テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応態勢をとることを訓練するもの。
- ・ PAS（Public Address System）：パブリック・アドレス・システム
以前は、ジャイアントボイスと呼んでいたもので、大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- ・ GBS（Ground Burst Simulator）：グラウンド・バースト・シミュレーター
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。
- ・ バッシュキャノン（Bash Cannons）：滑走路上の鳥を追い払うための、疑似音を出す装置

以上